



STOP! 热中症 クールワークキャンペーン

厚生労働省では、熱中症予防対策の徹底を図ることを目的として、関係省庁及び関係団体との連携の下、「STOP! 热中症 クールワークキャンペーン」を実施します。

職場における熱中症により、全国で毎年約20人以上が亡くなり、約6千人以上が4日以上仕事を休んでいます。（※令和4年以降、全国において）

厚生労働省及び労働局では、労働災害防止団体などと連携して、例年「STOP! 热中症 クールワークキャンペーン」を開催し、職場での熱中症予防のための重点的な取組を進めており、令和6年も5月から9月までをキャンペーン期間（4月を準備期間、7月を重点取組期間）として展開しています。

各事業場でも、事業者の皆さまご協力のもと、熱中症予防に取組みましょう！

今日の作業にどんな危険がありますか？

建設省は、労働災害防止団体などと連携して、例年「STOP! 热中症 クールワークキャンペーン」を開催し、職場での熱中症予防のための重点的な取組を進めており、令和6年も5月から9月までをキャンペーン期間（4月を準備期間、7月を重点取組期間）として展開しています。

建設省は、労働災害防止団体などと連携して、例年「STOP! 热中症 クールワークキャンペーン」を開催し、職場での熱中症予防のための重点的な取組を進めており、令和6年も5月から9月までをキャンペーン期間（4月を準備期間、7月を重点取組期間）として展開しています。



社長の一言

各人は自身の存在価値を高めること。一人一人の生産性が会社を強くする。必要人材で有れ。

元請会社	現場名	住所	直近上位企業	延床面積
戸田建設	(仮称)NRT14新築工事	千葉県印西市	戸田建設	18,000m ²

SKM通信4

発行：株式会社サクマ広報室

〒174-0043
東京都板橋区坂下2-32-27
TEL 03-3558-7316
FAX 03-3558-7317

E-mail sakuma@kk-sakuma.com

令和6年4月30日(火)

今月の予定

みどりの月間： 4月 15日～5月 14日

STOP! 热中症 クールワークキャンペーン：
5月 1日～9月 30日

ごみ減量・リサイクル推進週間：
5月 30日～6月 5日

安全衛生協議会： 5月 28日(火)



建設リサイクル法で
再資源化が義務化されました

環境問題に取り組むため、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、いわゆる「建設リサイクル法」が施行されました。建設廃材の有効活用、廃棄物の適正処理を推進することで、解体によって排出された産業廃棄物の再資源化が義務づけられています。そのため木材・コンクリート・アスファルト・鉄などの建築廃棄物の再資源化が義務化され、建設廃材が廃棄物になつた場合は、再資源化しなければなりません。

建設廃棄物の再資源化が義務化され、建設廃棄物の発生抑制、リサイクルに関する対策が、特に重要な課題となつてきています。大が見込まれるため、建設廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進に関する総合的な対策を早急にとりまとめ、それを実現していくことが強く求められています。

この週間はリサイクルを促進し、廃棄物の減量化を推進するための啓発活動を行う期間です。期間中は啓発活動の他、全国各地で路上の清掃など美化活動が行われています。

建設リサイクル法で再資源化が義務化されました

ゴミの回収方法は地域ごとに違いがあります

板橋区のゴミの回収方法が令和6年4月から変わりました。プラスチックごみが可燃ゴミから資源ゴミに変わりました。

容器包装用のプラスチックも資源ゴミとして回収する徹底です。慣れないのに分別しないで従来通り可燃ゴミとして出している方も多いと思います。

ゴミ分別のルールは同じ東京

都内でも、大きく異なる場合があります。中でも違いが出るのがプラスチックごみ（廃プラ）の出し方です。東京都で新生活を始める人はもちろん、東京都内で引っ越しをする人も、地域で配布されているゴミ分別の冊子には、目を通しましょう。驚くような内容があるかもしれません。

東京都23区のうち、ゴミの分

別が厳しいのは練馬区・大田区などです。いずれの区も、可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源ゴミ、粗大ゴミの4種の分類は同じですが、それぞれの分別の方法が異なります。

【練馬区の分別ルール】

練馬区では、古着や古布、使用済み食用油なども細かく分別をする必要があります。

【大田区の分別ルール】

大田区では、紙パックや食品トレイなども分別の対象になります。紙パックと食品トレー

いは、日々の生活の中で必ず出てしまうゴミですから、分別を習慣にしてしまえばあまり苦にはならないかもしれません。

東京都23区のうち、ゴミの分

別が比較的ラクなのが、足立区・目黒区・港区などです。いずれもほかの区と同様に、可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源ゴミ、粗大ゴミの4種の分別です。ですが資源ゴミの分別が、古紙、ビン、カン、ペットボトルなど、シンプルで覚えや

すいものになっています。

また品川区、台東区、北区の一部のエリアでは、ゴミの戸別収集が行われています。各家庭の玄関先にゴミを出しておけば、作業員が1軒ずつ収集してくれます。

ゴミの出し方は、容器または

中身が見える透明か半透明の

ごみ袋（レジ袋でも可）で出

します。不燃ごみは、車両火

出します。炎や思わぬ怪我の可能性がありりますので、分け方の注意事項を守つて出してください。

災害事例

無人の現場事務所で（全焼）火災事故

現場事務所の火災



令和6年3月1日午前3時

頃、浄化センター現場事務所で火災が発生しました。発生時は夜間で人は不在でした。

事故原因は未だ検証中ですが、現時点では、電動工具のバッテリーもしくはパソコン等のバッテリーが起火原因と推測されています。

再発防止策として、

・各種コンセントの不使用時の引き抜き（無人充電の禁止）

・パソコンの持ち帰り（データ保持の為）

・火元責任者による日常点検の実施

・最終退出者を点検者として

最終退出時の点検記録の作成

といった対策を行うことになりました。

火災が起りやすいバッテリーとはどのようなものでしょうか。

火災の危険性があるバッテリーの使用は控えま



このようないい處でダメージを受けたもの（ダメージを受けると電池内部でショートを起こし、発煙や発火、爆発の危険が高まります）

この対応策として、

○ウオーキングやジョギング、筋トレを短時間行ったり、カラダを暑さに慣れさせること

○気温や湿度が高くなっている時は、一緒にいる人への体温調査や水分補給、休憩などの声かけを積極的に行う。

○一日の気温変動が大きい時期は、天気や気温変化を考慮して着脱が容易な服装を選んだり、蒸れにくい素材や空調服を選ぶ。

○一日の気温変動が大きい時期は、天気や気温変化を考慮して着脱が容易な服装を選んだり、蒸れにくい素材や空調服を選ぶ。

○気温や湿度が高くなっている時は、一緒にいる人への体温調査や水分補給、休憩などの声かけを積極的に行う。

○一日の気温変動が大きい時期は、天気や気温変化を考慮して着脱が容易な服装を選んだり、蒸れにくい素材や空調服を選ぶ。



先月の安全衛生協議会の議事録

- 日時：令和6年3月26日(火) 17:00開会
- 場所：㈱サクマ 本社会議室
- 参加者：役員他 11名
- 春の全国交通安全運動の実施報告
- 現場パトロール・ヒヤリハットの報告内容
- 先月の安全目標に関する反省
- クレーム発生時の対応手順の周知
- 4月からのゴミの出し方(板橋区)の説明
- 職人増員の検討

17:40閉会

今月の安全衛生協議会の議事目録

- 開会のあいさつ (議長) 17:00
- 春の全国交通安全運動の説明 17:05
- 先月の安全目標の達成状況 17:10
- 現場パトロール・ヒヤリハットの報告
- 月間安全目標：清掃、ゴミの分別の徹底
- 熱中症予防対策の準備に関して 17:30
- 来月の予定に関して 17:40
- 質疑応答 17:45
- 閉会の宣言 (議長) 17:55

とだ化清わ新 何とが水つ年 と思始建た度 とかつま設り、迎 編集なるていま のものと 文責…飛 明男…	後 記
--	--------

先月の安全衛生協議会の議事録
1. 日時：令和6年3月26日(火) 17:00開会 2. 場所：㈱サクマ 本社会議室 3. 参加者：役員他 11名 4. 春の全国交通安全運動の実施報告 5. 現場パトロール・ヒヤリハットの報告内容 6. 先月の安全目標に関する反省 7. クレーム発生時の対応手順の周知 8. 4月からのゴミの出し方(板橋区)の説明 9. 職人増員の検討 17:40閉会

今月の安全衛生協議会の議事目録
1. 開会のあいさつ (議長) 2. 春の全国交通安全運動の説明 3. 先月の安全目標の達成状況 4. 現場パトロール・ヒヤリハットの報告 5. 月間安全目標：清掃、ゴミの分別の徹底 6. 热中症予防対策の準備に関して 7. 来月の予定に関して 8. 質疑応答 9. 閉会の宣言 (議長)